東京ジャーミイ金曜日のホトバ

2009年3月27日

クルアーンとスンナの統合性

兄弟姉妹の皆様。偉大なるアッラーは人間を被造物の中で最も尊いものとして創造されました。その人間にまず理性を与え、それから判断力、考える力、理解する力、そしてよいことと悪いことを選別する力も与えられました。それにとどまらずアッラーは、最初の人間、　そして預言者でもあるアーダム以来、メッセージを預言者たちを通して私たち人間に伝えられました。預言者たちは、アッラーから授かった神聖な教えをそのまま人々に伝えると共に自ら実践し、そして派遣された夫々の民への立派な模範となれました。最後の預言者である我々の預言者ムハンマド（彼の上に平安がありますように）は、偉大なるアッラーから啓示されたアーヤ（節）を人々に伝えられまたそれらのアーヤを言葉や行動によって解釈し、それで終わることなく彼は、自らの生活に中でそれぞれの規範を実践しながら共同体の模範となったのです。

親愛なるムスリムの皆様。我々は、自分達の宗教を正しく理解する為に聖典クルアーンと預言者ムハンマドのスンナ（預言者ムハンマドの言行）をよく知らなければなりません。預言者ムハンマドをクルアーンと別々に考えることも出来ません。

聖クルアーンンの解釈、またそれぞれの崇拝行為のやり方を教えているのは、預言者ムハンマドであるということを私達は忘れてはいけません。例えば、アッラーは、礼拝を定めています。しかし礼拝のラカート、（回数）や礼拝のやり方などについては、我々の預言者ムハンマドが「私が礼拝を行った通りにあなた達もやりなさい」と説明されています。また唯一なるアッラーは、ハッジ（巡礼）について、「ハッジとウムラ（小巡礼）を全うしなさい」（雌牛章第１９６節）と仰せられ、このことについて預言者ムハンマドは「巡礼のやり方を私から執る、すなわち学びなさい」と語っています。他の崇拝行為も同様であります。

さらにクルアーンの解釈も預言者ムハンマドによって行われました。このことに関してアッラーは我々の預言者に対して「われは明瞭な印と啓典とを，授け（てかれらを遣わし）た。われがあなたにこの訓戒を下したのは，且つて人びとに対し下されたものを，あなたに解明させるためである。かれらはきっと反省するであろう。」（蜜蜂章第４４節）と仰せられ、そして預言者ムハンマドは、「私は、あなた方に**2**つのものを残します。あなた方がそれをしっかり守るならば、あなた方は、逸脱してしまうことはないだろう。。それはアッラーの聖典クルアーンと我のスンナである」と語っています。

ムスリムの皆様。預言者に服従することはアッラーに服従するという意味であり、アッラーを愛するための道は、預言者に従うことにあります、またこの現世と来世の幸福を手に入れる方法は我々の預言者が残した二つの信託「クルアーンとスンナ」をしっかり守ることです。本日のホトバをアーリ・イムラーン章第３２節を引用して終えたいと思います。「言ってやるがいい。『アッラーと使徒に従いなさい。』だがかれらがもし背き去るならば，誠にアッラーは信仰を拒否する者たちを御好みになられない。」